

オリジナルキャラクターによる

かんない てんじ あんない

館内展示案内





展示コーナー ①

ぼくは「ぶじんくん」、本名は「挂甲武人埴輪」で、飯塚町の古墳にいたんだ。1930年頃に掘り出されて、1974年に「国宝」に指定されたよ。埴輪では国宝第一号です。今は上野の東京国立博物館にいて「トーハクのプリンス」といわれている、すごいだろ！新田荘歴史資料館にはぼくのそっくりさんがいます。身長は130センチ、みんなより少し小さいかな。切手の図案になったり、映画『大魔神』やテレビ番組『おーい！はに丸』のモデルにもなったんだ。



展示コーナー ④

今から1300年前の奈良時代には、全国の国府、今でいえば県庁所在地を結ぶ大きな道ができたんだ。太田には、都から東北地方につながる「東山道駅路」や現在の東京都府中市に通じる「東山道駅路武蔵路」という「国道」があって、天良町には「新田郡家」という日本最大規模の郡役所があったんだ。ぼくはそこで働いている「みやさん」さ。偉いから馬に乗ってるんだ。

展示コーナー ⑤

ぼくも「新田郡家」ではたらいている「ななひこくん」だよ。都に納める品物につける荷札や役所間の連絡用の札を担当しているんだ。この札は「木簡」というんだ。この時代、字を書ける人は少なかったんだよ。ここには漢字を書いた墨書土器もあるよ。「入田」とあるのは「新田」のことだよ。



展示コーナー ②

わたしは「あやちゃん」、縄文時代の太田で暮らしていました。縄文時代って今から1万4000年くらい前からおよそ1万1000年以上も続いていたのよ。この資料館には当時使われていた石器やめずらしい「爪型文土器」もあるよ。狩りをしたり木の実を集めたりしていたわ。



展示コーナー ⑥

みんな、わがはいのことは知ってるな。「歴史に名高い新田義貞」、「よしさだくん」だ。わがはいの先祖・新田義重が浅間山の噴火で荒れ果てた土地を、平安時代末期に開墾して作ったのが「新田荘」、わかりやすくいえば私有の農園だな。わが新田一族は代々この荘園を守ってきたが、鎌倉幕府から無理難題を押しつけられて、幕府を倒すため新田市の市野井町の生品神社で拳兵したのが、およそ700年前のこと。幕府は倒したけど、足利尊氏と戦って敗れ、ついに故郷には帰れなかった。だがわがはいの一族や家臣たちの子孫はこの地に根をおろして頑張ってくれたんだよ。新田源氏の系図もあるぞ。



展示コーナー ③

ぼくは古墳時代から来たよ。名前はズバリ「たかじょうくん」。肩に乗ってるのは相棒のタカさ。かつて城西町にあったオクマン山古墳にいたんだ。太田市にはなんと1200基以上の古墳があったんだよ。内ヶ島町の天神山古墳は東日本でいちばん大きな「前方後円墳」だ。とても力のある豪族の墓だったんだね。この古墳にあった水鳥型埴輪や、せらだすわしもこふんぐんじんぶつはにわうまがたはにわえんとうはにわいえがたはにわ世良田諏訪下古墳群の人物埴輪・馬形埴輪・円筒埴輪・家型埴輪も見てくれよ。



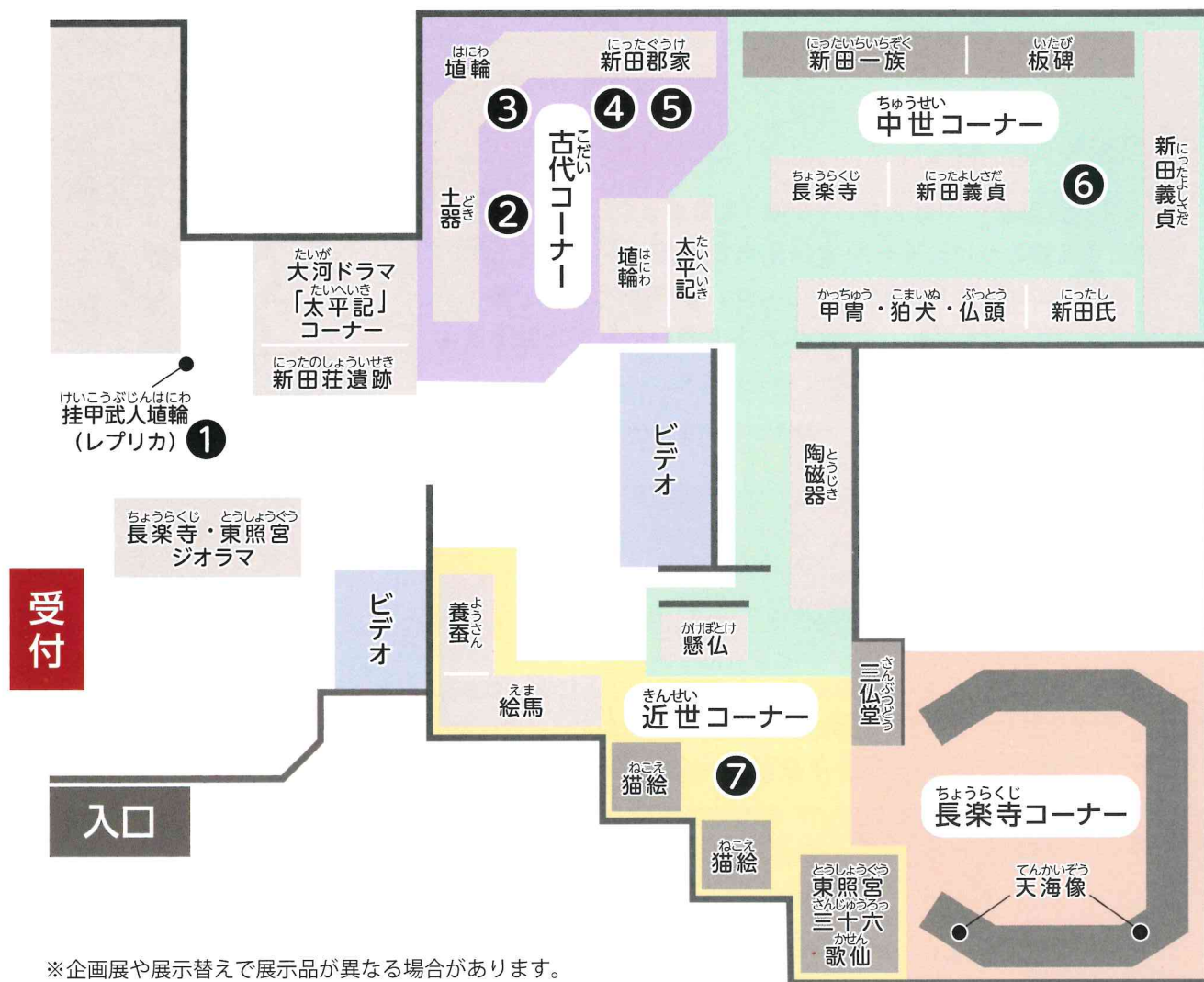
展示コーナー ⑦

ぼくのモデルは新田一族の岩松家の主人が描いた「猫絵」だよ。夏目漱石の『吾輩は猫である』じゃないけど「名前はまだない」んだ。ぼくは江戸時代に大活躍したよ。この時代の群馬でさかんだったのが「養蚕」、絹を生み出す「おかいこ様」だね。このおかいこ様の敵が「ねずみ」、そのねずみをやっつける猫絵が大人気になったんだ。



新田荘歴史資料館

館内案内



※企画展や展示替えて展示品が異なる場合があります。

2024.7



- 交通のご案内 東武伊勢崎線世良田駅下車徒歩20分
JR高崎線深谷駅より車で20分
- 利用のご案内 開館時間 午前9:30～午後5:00 ※入館は午後4:30まで
休館日 月曜日(月曜日が休日の場合は翌日) 年末・年始
入館料 一般 200円(160円)
※()内は団体20名以上の料金
※中学生以下無料・身体障害者手帳等をお持ちの方と
その介護者1名は無料

太田市立新田荘歴史資料館

〒370-0426 群馬県太田市世良田町3113-9
TEL 0276-52-2215 FAX 0276-52-2208

